

# 水事業を普及拡大

水置  
海装  
型化  
小淡

## 戸田建設 水不足解消へ出資

戸田建設は25日、海水淡水化装置を製造販売するワイズグローバルビジョン（沖縄県うるま市、柳瀬善史社長）に出資（第三者割当増資引受）したと発表した。ワイズ社を通じた小型海水淡水化装置による水事業の普及拡大により、水不足を解消するCSV（共通価値の創造）の実現を主な目的としている。

途上国でも導入が容易な小型装置に着目して、世界的な社会課題となっている水不足の解消に取り組むワイズ社の水事業は、「企業活動を通じて社会の発展に貢献する」という戸田建設の企業理念に合致しているとともに、ワイズ社の海水淡水化装置の活用により、近隣の海や河川から工事用水の調達が可能となり、主に沿岸・山間部での土木工

事で、運搬コストの削減などのメリットが期待できるとしている。

ワイズ社は水のスマーティンフラとして、世界最小最軽量クラスの装置開発により、良質な水の地産地消を世界レベルで推進している。海水、

汚水から浄水をつくる同装置は、逆浸透膜、ポンプ、モーターなど信頼度の高い汎用品に独自開発したパーツ（特許取得済）を組み込むことにより、高品質と低価格を実現している。今後、戸田建設は特に良質な水資源の確保が課題となっている海外で、ワイズ社と連携して海水淡水化装置により、経済的かつ社会問題の解決に役立つ取り組みを継続していく。

## 日刊建設工業新聞

### 海水淡水化装置メーカーに出資

戸田建設

戸田建設は25日、海水淡水化装置メーカーのワイズグローバルビジョン（沖縄県うるま市、柳瀬善史社長）に資本参加したと発表した。

た。同社は、世界最小・最軽量クラスの海水淡水化装置を開発している。

小型海水淡水化装置による水事業の普及・拡大を図り、水不足を解消するというCSV（共通価値の創造）の実現を目指すことが狙い。戸田建設は、作業所での海水淡水化装置活用も試行している。近隣の海や河川から工事用水の調達が可能になると、コストの削減などのメリットが期待できると見ている。